



SHOP

インドカレーイシイ

店主
石井 潤
(いしい じゅん)

コペルニクス的
ストイック
カレーマスター



鶏肉たっぷりのカレーはテイクアウト可。



著休めのアチャール(インドの漬物)もまちなか移転に向け新メニューも開発中。人気。左が玉ねぎ&右がナス。

聞いたことはないだろうか。東京からもカレーマニアの通う名店が、「まちなか」の外れにあるという噂を。噂の店「インドカレーイシイ」は中央前橋駅のすぐそばにひっそりと佇んでいる。店主の石井さんは、東京でwebデザイナーなどを経て前橋へやってきた。群馬中の美味しい店を食べ歩くうちにカレー作りにハマリ、本場インドに1ヶ月間のカレーツアーに出たこともあるほど。中でも、首都デリーに実在する伝説のレストラン・カリムホテルのカレーは自身のカレー作りに大きな影響を与えたという。水分を最小限に抑え、全ての素材の旨みを凝縮したルーには、通常のカレーの仕込みの2倍以上時間がかかる。「カレーは僕の作品なんです。食べた人を楽しんで欲しい。そのため食材へのこだわりと、かける手間は惜しみません」と素っ気なく笑う。妥協なきストイックな味作りと、新メニュー開発のために売上度外視で週2回営業にするアナキーさ。この店のカレーの最大の隠し味は、店主の個性という名のスパイスなのだ。

前橋市城東町3-6-16宮崎ビル1F 090-5532-7600
12:00-14:30/18:00-21:00(金曜・土曜営業) テイクアウト電話受付11:00-

前橋シネマハウス
館長レコメンド

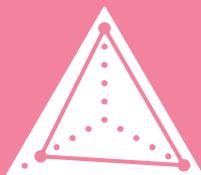
イエで見るべき3本はこれだ

1

コンテイジョン

監督: スティーブン・ソダーバーグ
出演: マット・デモン / ジュード・ロウ ほか

このご時世度



教訓度

家にいよう度

「パニックはウイルスよりも深刻だ」
今を“予言”していた映画。



映画「コンテイジョン」はその意味“感染”の通り、地球規模で新型ウィルスが感染拡大していく恐怖を描いたサスペンス大作。現在の世界が置かれているコロナウィルスの影響を予測していたような映画で、当時の僕は飛躍しすぎて現実味が無いしそれほど面白くは無いと思っていたが、今だからこそ観た方が良くと思います。その後の世界を予測したかのような映画はたくさんあります。その当時は「ありえない!」と批判されても必要になる時がくるものです。そう考えると映画から学ぶことは多いと実感してもらえませんか。

日本のネズミもかわいいぞ。
子供と一緒に冒険の旅へ!

認知症を明るく切り取る。
疲れる日々にも優しさを。

2

ガンバとカワウソの冒険

監督: 大賀俊二
声の出演: 野沢雅子 ほか

子供と楽しめる度



意外に敵が怖い度

伝説アニメ度

シリーズの完結作として製作された長編アニメーション映画。シリーズの醍醐味は、個性豊かな6匹のネズミたちが面白いことに加え、敵である野生動物がめちゃくちゃ怖いこと!僕も子どもの時は劇場の椅子に隠れて見ていましたね。そんな衝撃的な記憶が大人になった今でも環境問題、命の大切さを考えるきっかけになっている気がします。

3

ペコロスの母に会いに行く

監督: 森崎東
出演: 赤木春恵 / 加瀬亮 ほか

人にやさしく度



親を思う度

考えさせられる度

漫画家・岡野雄一さんが認知症になった母との生活を描いた実話。認知症といったら暗いイメージがありますよね。でも本作は認知症になっても、人間の尊厳を失わず楽しく生きた家族の物語。お母さんの可愛らしさに笑いが止まりません!「ボケることも悪いことばかりじゃなかとにな」という長崎弁が忘れられない作品になるでしょう。

前橋シネマハウスからのお知らせ

いつも前橋シネマハウスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大状況と、群馬県からの外出自粛要請を踏まえ、検討した結果、当面の間臨時休館とさせていただきます。営業再開に関しましては、決まり次第、当館HPやSNSにてお知らせいたします。

劇場が再開できたとき、映画館で映画を観れるときがきたら、「映画があってよかった。映画館で観れてよかった」と、みんなで喜びを噛み締めましょう。また、再開できるよう努めます。全国のミニシアターの灯が消えないことを祈っております。今後とも前橋シネマハウスを宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルスで打撃を受けているミニシアターを支援するためのプロジェクトへ参加中です。よろしければご協力をお願いいたします。

『ミニシアター・エイド基金』 <https://motion-gallery.net/projects/minitheateraid/collectors>